



綿半レポート

# Watahan Report



2025年3月期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日





## 経常利益は過去最高を更新

- 建設事業が順調に進捗したことや、小売事業の収益性の向上により増収増益



売上高

1,335 億円 前期比 4.3%増

経常利益

過去最高収益 38.1 億円 前期比 17.8%増

## 中期経営計画の進捗

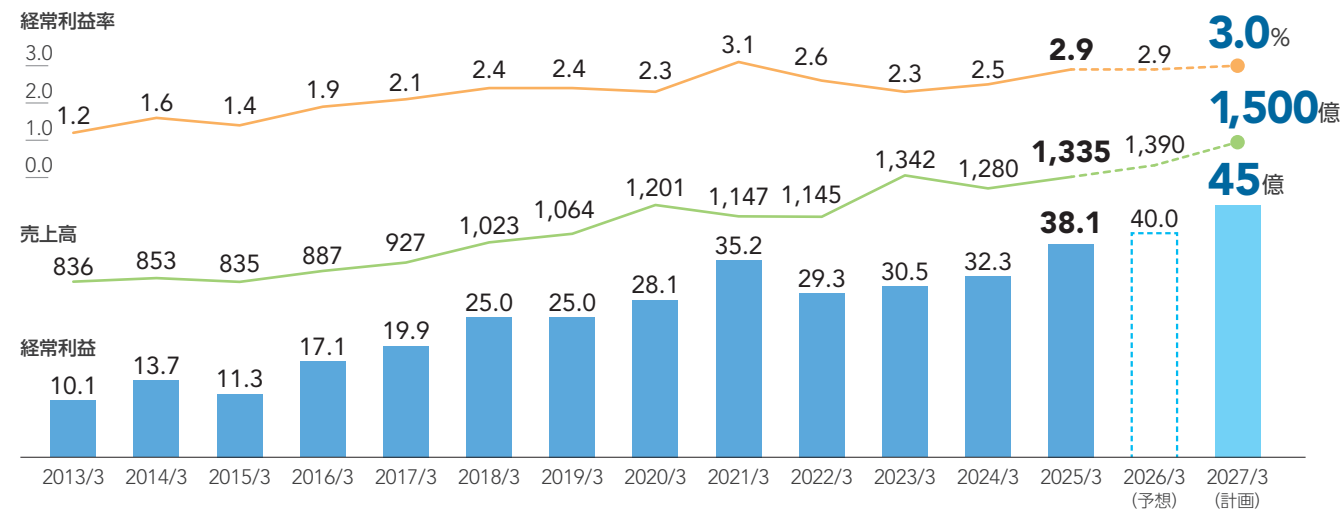


2027年3月期  
目標値

売上高  
1,500 億円

経常利益  
45 億円

経常利益率  
3.0 %



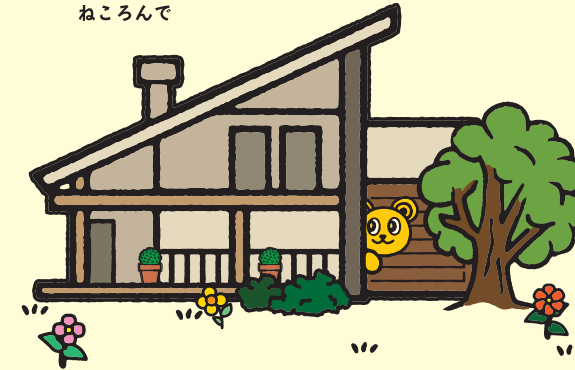
## Pick Up

### 綿半林業の家



住めば、住むほど、健康な家。  
住む人の健康をなにより大切に考える。  
それが綿半林業の家です。  
ぜひ、泊まって体感してください。

来て 見て さわって  
ねころんで



4月26日 松本市村井にモデルハウスオープン!

無料宿泊体験できます!

綿半林業の家



お問い合わせ 綿半林業の家 Tel.0263-87-2270

松本市村井町南 2-1-28  
(火曜・水曜定休)



HPはこちら

## 地域活性化を原点に、 成熟産業を成長産業へと変革します。

代表取締役社長 野原 勇

### 挑戦の先に、私たちの目指す未来像がある

——綿半グループの将来像について教えてください。

これまで、日本各地の漁港から直接、魚を仕入れたり、バイヤーが目利きした産地直送の野菜を販売したりと、小売業の常識を覆すような試みに挑戦してきました。これらの挑戦は、最初はそれぞれが小さな「点」でしかありませんでしたが、今では一本の線となり、私たちが目指す「地域の産業を支える企業グループ」へと、着実につながっています。

綿半グループは長野県で生まれ、長野県で育った企業です。ありがたいことに、県民の皆さまの中には「新鮮な野菜が揃っている」「美味しい魚やお肉がいつもある」「いいモノが安く買える」など、様々な

ランドイメージが構築されつつあるようです。

しかし、日本、特に地方では、人口減少と高齢化が地域経済を縮小させ、さらなる人口減少と少子高齢化に拍車がかかるといった悪循環が生じており、それは長野県も例外ではありません。綿半グループができることは長野県の産業を核とした事業を確立し、そのブランド力をもって県外および海外へとビジネスを広げ、ともに持続的な成長を実現することです。

さらに、各業界にはいつできたのか、何のために作られたのかもすでにわからなくなった暗黙のルールが存在します。ルールができた当初は携わる人たちを守るものだったかもしれませんが、経済が縮小している今は、そのルールが参入障壁をより高くし、後継者問題なども相まって、業界そのものを衰退させ



わたびーが解説! ①

### 「綿半ファーム」

綿半の6次産業を担うグループ会社。ここで育った豚は綿半スーパーセンターに卸されているよ。また、2025年には綿半ブランド「SHINルビー牛」の生産も始めたよ。

る要因となっています。当社グループが参入した養豚業や畜産 ←わたびーが解説! ① も後継者のいない方から引継ぎましたが、食品加工や流通・販売に至るまでの事業を一気通貫させる、いわゆる6次産業化してみると、その事業のどこにひずみがあるのかが分かり、そこを修正すれば合理的なビジネスを展開できることを学ばせてくれました。当社グループが参入することでその業界の「当たり前」が変わり、活性化の一助となれればと考えています。

当社グループでは、数年前から自社で物流体制を構築し、配送業務を効率化してきました。物流業界では現在、ドライバーを中心に人材不足が深刻化し、高騰した物流費が各企業の利益を圧迫していますが、その影響を受けることなく、ドライバーに負荷がかからないよう配送ルートを構築して働きやすい雇用環境を整えたことで多くの方が入社を希望するなど、ドライバー不足とは無縁の状況となっています。これもまた業界の「当たり前」を変えた副産物なのかもしれません。

### 林業の発展が「健康な家」、 そして「エネルギー」へとつながる

——木材関係の動きについて詳しくお聞かせください。

長野県にはカラマツやヒノキ、スギ、アカマツなど、家づくりに適した木が多く植えられています。これらの木材を積極的に使い、新たに木を育てることで森林はますます元気になり、再生可能な資源を活用した循環型社会の実現に貢献できます。

そこで当社グループでは長野県の木材を有効活用した木造建築に着目し、国産の天然ひのきを使った戸建木造住宅を提供していたサイエンスホーム(現綿半林業SH)をはじめ、夢ハウス(現綿半林業) ←わたびーが解説! ② など木造住宅にこだわりを持つ企業をグループ化してきました。

実は、長野県は健康寿命が男女ともに全国1位であり、しかも男性は2年連続、女性は7年連続で1位(※2022年／現状では最新データ)です。

わたびーが解説! ②

### 「サイエンスホーム・夢ハウス」

サイエンスホームは、「真壁造り」の木の家を、全国で提案するフランチャイズ事業を行っているよ。  
夢ハウスは、天然無垢材にこだわった木造住宅の販売事業を展開し、全国に約400社の加盟店を有するハウスメーカーだよ。





また、「健康」を保つうえでは住まいも重要であり、近年、住む人の健康を第一に考えた「健康住宅」が注目されていると言います。そこで今年度から「住めば住むほど健康な家」をコンセプトに掲げ、当社グループの林業の認知度を上げていく計画です。家の本当の良さを知るには「来て、見て、さわって、ねころんで」いただくことが一番です。そのために安曇野市や松本市、長野市、飯田市に作った住宅展示場で実際に宿泊し、柱などに使う木材の加工工場も見学してもらうなど居心地の良さを徹底的に体感していただくほか、住まいのベストを常に探しながらお客さまとともに家づくりを進めていきます。

併せて、昨年グループ化した森林の豊富な知識やノウハウを持つ須江林産は、特に伐採や植林を得意としている企業です。この須江林産がグループに加わったことで、素材丸太の生産から加工、施工、販売に至るまで、木材に関わるすべてをグループ内で構築できるだけでなく、森づくりを通じた循環型林業を推進でき、長野県的林業発展と当社グループの企業価値向上を図れると考えています。

林業に携わる企業にとって、「廃材」の活用は重要な課題です。そこでこの度、綿半ウッドパワー株式会社を設立し、木質バイオマス発電事業を開始しました。

そもそも、信州F・POWERプロジェクトの一環として設立された発電事業会社ソヤノウッドパワーは、

綿半建材(旧征矢野建材)の民事再生に伴って燃料用チップの供給義務契約が解除されたことや、米国で発生した木材価格の急騰、いわゆる「ウッドショック」で燃料用チップが集まらなくなり、業績不振に陥りました。その後、長野県の豊富な森林資源の有効活用や発電所設備を無駄にしないように再建方法を模索し、ソヤノウッドパワーの株主間で度重なる協議をした結果、綿半と九電工で新会社を設立し、ソヤノウッドパワーの発電事業を引継ぐことになりました。

現在、広大な集材拠点である綿半ウッドパークには大量の燃料用チップが集まり、発電事業を継続的に行える環境が整っています。

また、飯田市においてまもなく、信州大学による太陽光から水素を安く大量に生産する実証実験が始まります。当社グループもこの次世代エネルギーの研究・開発に協力することで、環境に配慮した未来の街づくりに貢献していきたいと考えています。

### 「人財」を育て、地方の活性化を促す

——人財育成、地域社会への貢献などについても教えてください。

当社グループでは、これまで綿半グループを担う次なる人財を育成するため、「次世代育成研修」を行っ



てきました。これは、受講生となった社員がグループワークなどを通して、経営の基本的な知識や経営思考等を学ぶための研修制度です。さらに、考える力の養成を目的とした「新規事業研究会」も開催し、物事を「考えて、まとめて、伝えて、さらに人の意見を取入れる」といったサイクルを繰り返すことで、発想のプロセスを身につけるという取り組みも行ってきました。

こういった取り組みを社内にとどめるのではなく、地方の経営者や企業の中核となる人たちに広げること、新たな発想や考え方、新しいビジネスのアイデアが生まれるなど、双方向にいい効果が生じるのではないかと考え、今後は地域の企業や異業種間の交流を持つ場として拡大し、人財面からも地方の活性化を促したいと思っています。

### 成熟産業を成長産業へ

——ステークホルダーの皆さまにメッセージをお願いします。

綿半グループは今年、東京証券取引所に上場してから10年目を迎えました。上場10周年を記念して、特別配当5円、さらに2026年3月期に1円増配し、1株あたり30円と11期連続増配を予定しております。また、おかげさまで、2025年3月期は、過去最高収益を達成することができました。

当社グループの事業はいずれも成熟産業と思われるがちですが、当社グループではそれらの事業を力強く成長させるために継続的な投資を行いながら、同時に株主還元も充実させていきます。ステークホルダーの皆さまには、綿半グループの未来に期待しながら、末永く応援いただきますようお願い申し上げます。



## 綿半で輝く 「人財」

綿半グループを担う  
「人財」の魅力を紹介します。

綿半パートナーズ株式会社  
セクションリーダー

鈴木 善也

### Profile

趣味はランニング  
年に2〜3回ハーフマラソンに出場  
愛犬との生活が癒し。好きな食べ物はそば。  
おすめは川中島のたなぼた庵



### 綿半のPB開発秘話

## 自分を突き動かしているのは「好奇心」です

### ◆これまでの経歴と綿半に入社したきっかけ

2000年代から約15年間、他企業で食品バイヤーを行うほか、商品開発にも携わり、数多くの商品の企画・導入を経験してきました。

綿半に入社したきっかけは、前々職で小売業に在籍していた際に綿半のPB商品に出会い、興味をもったことです。その後ご縁があり、昨年5月に綿半へ入社し、これまでの経験を活かしながら新たな商品企画・開発に取り組んでいます。

### ◆綿半のPB開発とは

PB商品開発においては、「こだわりの高付加価値商品」と「効率重視の低価格商品」の2つの方向性がありますが、近年綿半は、「こだわりの高付加価値商品」の製造に力を入れています。

その中で何よりも大切にしているのは、お客さま視点です。お客さまのニーズを的確に把握し、何を求めているのかをしっかりと分析しながら商品開発を進めています。

また、味の調整も重要なポイントです。例えばポン酢の開発では、8種類の試作品の中から1種類を厳選すると

いう工程を経て商品化しました。このように、お客さまに最適な商品を提供するため、細部にまでこだわりながらPB開発を進めています。

デザイン面では、親しみやすさを重視してすべてのパッケージにキャラクター「わたぴー」を採用し、PBを通じて綿半のブランド認知度を高め、綿半ファンを増やしていくことを目指しています。

### ◆PB開発の流れは？

まず、お客さまの潜在的なニーズを分析したうえで、製造委託できるメーカーを探します。

商品化を検討するなかで、製造委託できるメーカーが存在しない場合や、製造数と販売実績のバランスが取れない場合があるため、慎重な調整が必要です。

そのため、日々メーカーの開拓を行い、展示会などにも足を運びながら、製造委託の交渉を進めています。

企画から店舗に並ぶまで、最短で半年ぐらい、ものによっては1年かかるものもあります。

### ◆ここ最近のヒットPB商品は

今年の2月に販売開始した、おいしい元気卵です。黄身の色合いを良くしたり、ビタミンEとDを強化したりするため、綿半オリジナルの飼料をブレンドして鶏に与えてもらいました。何度も飼料の調合を見直して作ったこだわりの卵です。この商品は、POPや店頭で流す動画等、売場装飾もしっかりと行い、非常に多くの関係者が関わって商品化され、大ヒットしました。

### ◆今までに苦労したPB開発商品は

今年の5月に発売開始したこだわりのもつ煮です。長

野県産のもつ・PB商品の長野県産味噌・八幡屋磯五郎さんの七味といった地元食材を使って、地元の企業とコラボした商品で、製造委託するメーカーには、レシピと企画書を1から作ってもらいました。

メーカー間の調整等、今までに経験ない開発プロセスだったので結構苦労しましたが、自分で企画した商品が並び始めて、お客さまがかごに入れているのを目の当たりにした時はとてもやりがいを感じますね。



### ◆今後取組んでみたいこと

八幡屋磯五郎さんとコラボしたもつ煮のように、有名なブランドとのコラボを増やしていきたいですし、今まで取組んだことのないコーヒーやお酒といった「嗜好性の高い商品」の開発もしていきたいです。

いままでもずっとそうだったのですが、自分を突き動かしているのは「好奇心」です。なので、この先も「好奇心」をもちながら仕事をしていきたいと思います。







# 小売事業

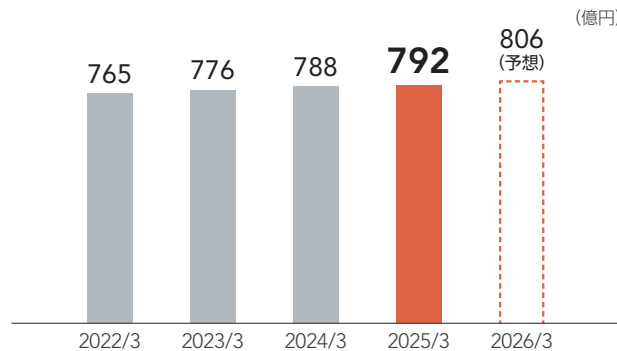
スーパーセンター・ホームセンター・食品スーパー・ドラッグストア・インターネット通販等を展開しております。

## 売上高

過去最高を更新

792億円

前期比  
0.5%増

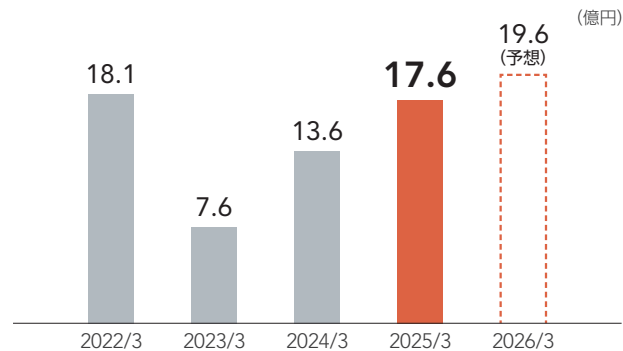


- インターネット通販の販売戦略が成果を上げたことで、好調に推移して増収
- 新店と店舗改装による収益性の改善や、物流コストの削減により増益

## セグメント利益

17.6億円

前期比  
29.5%増



## TOPICS

4月4日、綿半スーパーセンター千曲店がリニューアルオープンしました。

「わくわく感」と「ライブ感」をテーマに、千曲店の強みであるグルメをさらに充実！オープンキッチンの導入や、手作りのとんかつ・メンチカツなどの揚げたてフライの提供、さらには焼立てパンを楽しめるベーカリーの新設など、売場が大幅にパワーアップしました。これからも、地域のお客さまに寄り添い、豊かな食生活を提供していきます。



黒毛和牛の「赤身を味わう」時代が到来！  
自社農場でこだわりの飼料と  
清らかな水で育った



## 綿半ブランド「SHIN ルビー牛」発売！

自社農場で飼育した黒毛和牛を 綿半ブランド牛「SHIN ルビー牛」として、綿半スーパーセンター各店舗で数量限定販売を開始いたしました。



### 一番の魅力

それは、「赤身の美味しさ」です。

「和牛」と言えば、きめ細かなサシが入った脂身の旨みが特徴！しかし「SHIN ルビー牛」は赤身の美味しさにこだわりました！

噛みしめるほどに味わいが複雑に変化する赤身の深く濃厚な味と、熟成香のような赤身の芳香をぜひとも味覚と嗅覚で味わってください。

### おいしさの秘密

通常の飼料の与え方は、肉質や肉量を第一とします。しかし綿半では、成長促進剤などの薬に頼ることなく、信州の新鮮でおいしい水と涼しく澄んだ空気、そして牛にとって健康的に育つ自社独自の飼料を与えることで、脂身だけでなく赤身の旨味を引き出すことに成功しました。

飼料は、他の農場では給与しない、青物(あおもの)であるトウモロコシやソルガムを乳酸発酵させた飼料や、良質の牧草を与えています。

飼料を自社農場でつくることで飼料コストが削減されるとともに、農場から直接お店に卸すことで、最高の肉をお求めやすい価格でお客さまへ提供することが可能になりました。

また、通常は3～5頭を同じ部屋で飼育しますが、綿半では、牛同士で生じるストレスを避け、個体ごとの健康状態をしっかりと確認するために、一頭飼育をしています。国内でこのようにこだわり飼育をしているのは珍しいといわれています。

古くからの飼育方法にこだわらず、新しいものを取り入れながら独自の飼育方法で進めています。





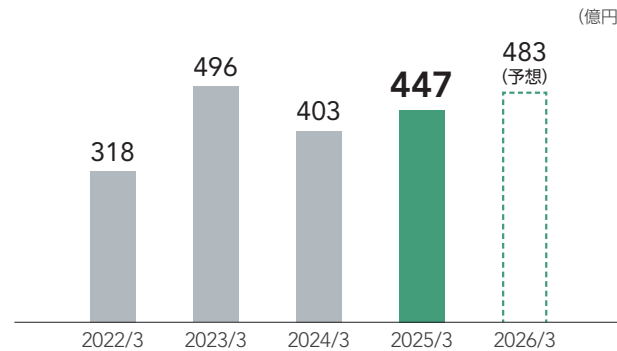
## 建設事業

木造建築、鐵構、屋根外装改修、自走式立体駐車場等を展開しております。

### 売上高

447 億円

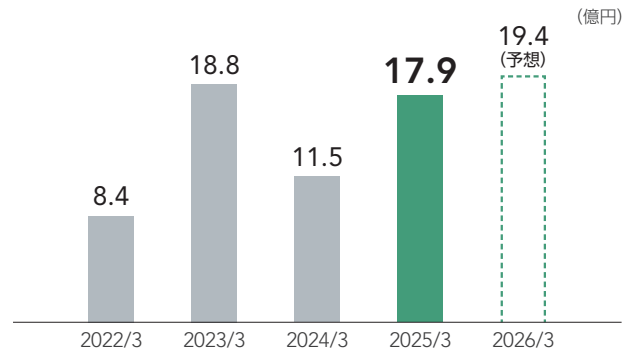
前期比  
11.0%増



### セグメント利益

17.9 億円

前期比  
55.9%増



- 綿半建材のグループ入りにより増収
- 屋根リニューアル分野が好調に進捗したため増益

## TOPICS

2024年10月24日、須江林産が第60回全国林材業労働災害防止大会で優良賞を受賞しました。

これは、長野県内企業初、全国でも3事業会社のみが表彰された賞となります。1990年の事業開始から重大な事故がなく、外部研修へ積極的に参加するなど従業員の安全教育に力を入れており、安全対策に対する意識の向上を常に図っている点が評価されての受賞となりました。これからも安全対策への意識を高め、事業を運営していきます。



## 貿易事業

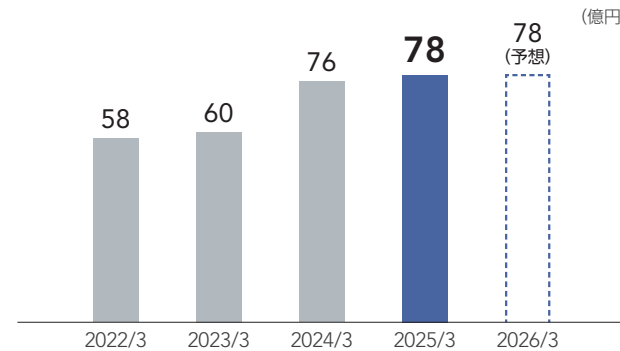
世界20カ国以上から天然由来の医薬品・化成品原料の輸入販売、不妊治療薬の原薬製造等を行っております。

### 売上高

過去最高  
を更新

78 億円

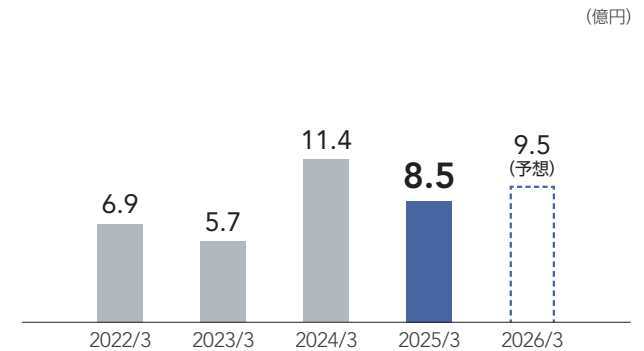
前期比  
2.2%増



### セグメント利益

8.5 億円

前期比  
25.3%減

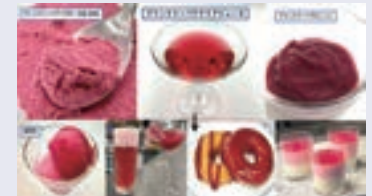


- 商品構成比の影響により減益

## TOPICS

2025年2月、綿半取扱いのサボテン製品に新たなラインナップが加わりました。鮮やかな赤色が特徴の野菜、レッドビートと同じ天然の赤紫色素『ベタレイン』を含んでおり、着色料なしで綺麗な赤色やピンク色の色味を出すことができる『プリックリーベア(ウチワサボテン果実)クリアジュース』です。

ベタレインには高い抗酸化作用があると言われているほか、ウチワサボテン果実には、ベタレイン以外の栄養価も高く、ビタミンやミネラルも豊富に含まれています。この商品を、新たな「赤色着色料」をご検討の食品メーカー様へ展開し、販売網を広げていきます。







## 綿半店舗にて使用済食用油の回収を開始!

みなさんは揚げ物をした後の油をどうしていますか?

固めて捨てる?そのまま捨てる…(これはダメ)

実は家庭で使用される油は、4%くらいしか回収されていません。

そこで綿半は、「お客さまとのつながり」を活かして使用済食用油の回収を始めました。

回収方法はペットボトルに入れて店頭に持込むだけ。回収した油は提携業者によりリサイクル処理され、バイオ燃料などの再生資源として活用されます。

この取組みにより、資源循環の促進とCO<sub>2</sub>排出削減の実現を目指します。

## 綿半のサス テナビリティ

### もったいない野菜を救う 「ReVenge」の開始!

野菜の価格高騰が続く一方で、おいしいのに形が悪くだけで市場に出回らない野菜が約30%にのぼっています(当社調べ)。この問題を解決するために、廃棄予定の野菜を店舗で販売する取組み「ReVenge」が始まりました。販売開始後、即日完売するほど人気を集めており、今後は惣菜に加工しての販売も予定されています。この取組みは、フードロス削減だけでなく、生産者の収益向上や食料不足の解消にもつながることが期待されています。



### 収穫から出荷までをサポートする 市田柿の取組み

飯田市では市田柿の生産が盛んですが、高齢化により生産者が減少しつつあります。綿半は、この伝統の味を守るため、収穫作業などのサポートを行い、生産者の負担軽減と持続可能な農業の実現に取り組んでいます。

また、綿半の販売網を活かして、全国のお客さまへ市田柿をお届けしています。1月に、有名テレビ通販番組ショップチャンネルさまのご協力のもと、こちらの市田柿を販売したところ、放送開始30分以内に完売となりました。今後も生産者の課題解決に取組み、地域密着型の支援を続けていきます。



綿半をもっと身近に!  
もっとお得に!



## 綿半LINEアカウント

綿半のLINEアカウントにはお得情報盛りだくさん! **チラシ先取りにクーポン配信**、そして**店舗開催のイベント情報**! 綿半の最新情報はここでGET! ぜひお友だちになってください!



goca  
クレジットカード



## 綿半instagramアカウント

綿半のinstagramアカウントは**個性あふれる情報**が盛りだくさん! ガーデニングの参考に、今夜のご飯の参考にぜひご覧ください!



綿半グループ(綿半スーパーセンター・綿半ホームエイド・綿半フレッシュマーケット)利用時の**還元率は最大2.5%**。綿半グループ以外の利用でも最大1.5%の高還元! 詳しい説明は、QRコードからご覧ください。



綿半ホールディングス株式会社

長野県飯田市北方1023-1 TEL:0265-25-8155(代表)

<https://watahan.co.jp/>

